

2－SD（2部追及専科） * 追及専科のため、服従作業はありません。

称号

チャンピオングループ：得点95.0点以上、リザーブチャンピオン：得点94.9～90.0点

[100点満点]

審査要綱 2部追及作業及び1部追及作業を複合した内容とする。

競技内容

科目構成

- 1 150歩以上250歩以内
- 2 歩数を除きコース構成は、1部追及作業と同じとする。
- 3 遺留品 スタート1個・途中1個から3個・最終1個、材質は、1部足跡追及と同程度のものとする。
- 4 制限タイム設定 約一歩一秒で算出する。
- 5 ポイント姿勢 停座／伏臥／立止

実施要領

- 1 指導手は、審査員の前で犬を停座させ、出陳番号・犬名・指導手名と紐の使用の有無などを同時に申告する。
審査員の指示で、申告した実施体勢で出発地点において停座をさせ、遺留品白布を停座姿勢で犬に嗅がせた後、一声視符で出発させる。
- 2 120cm前後の紐又は10mのロープの使用を認める。ただし、指導手は紐又はロープを保持することはできない（指導手が紐又はロープを送り出すことは許される。）。
- 3 犬が約10m進んだ時点で追従を開始してもよいが、全作業中、おおむね約10mの間隔を維持しなければならない。
- 4 紐又はロープが、ピンなどに巻き付き正常な追及作業ができない場合は、審査員の指示で犬のもとに行き、その箇所からやり直しを認める。
- 5 4のやり直しの場合、再スタートさせるが再びコースを逸脱した場合は、中止となる。自然物・人工物の場合は、犬が止まった箇所から再スタートさせる。
- 6 指導手が犬の作業中に、紐又はロープを止める、引くなどの行為をした場合は、その作業は中止
- 7 犬が遺留品を発見したら、審査員の指示で犬のもとに行き、遺留品を審査員に提示し、その後、犬を一声視符で出発させる。最終遺留品の場合は、遺留品を審査員に提示後、終了とし退場する。